

多関節炎をきたしASOの上昇がみられた小児における尿中 β 2ミクログロブリンと尿中N-アセチル- β -D-グルコサミニダーゼの推移

鈴木 清 高[†]

IRYO Vol. 76 No. 3 (225–229) 2022

要 旨

今回、多関節炎をきたし、A群溶連菌が分泌する菌体外酵素（anti-streptolysin-O : ASO）の上昇がみられたため、ベンジルペニシリンベンザチン水和物の内服を併用した4歳女児において、尿中 β 2ミクログロブリン（ β 2MG）と尿中N-アセチル- β -D-グルコサミニダーゼ（NAG）の推移を検討した。経過中、血清クレアチニン（Cr）や尿中 β 2MG/Crの上昇・尿中赤血球や尿蛋白の増加はみられず、腎機能障害は否定的であったが、国立病院機構豊橋医療センター（当院）小児科（当科）紹介時のX日に上昇がみられた尿中NAG/Crは、関節痛が改善傾向となった後に低下がみられた（X+26日に6.641, X+52日に4.074, X+206日に3.173）。このことより、腎機能障害の存在が否定的と考えられる症例の尿中NAG/Crは、多関節炎の病勢を反映した結果となる可能性があると考えた。ASOは、X+2日に451 U/mlと上昇がみられていたため、ベンジルペニシリンベンザチン水和物を2週間内服したが、X+145日にも342 IU/ml（正常範囲は200 IU/ml）となっていた。このため、本症例のASOに関しては、非特異的上昇がみられていた可能性があると考えた。

キーワード 多関節炎, ASO, 尿中 β 2ミクログロブリン, 尿中N-アセチル- β -D-グルコサミニダーゼ

はじめに

小児の関節痛、四肢痛の原因は多岐にわたる¹⁾。5関節以上の関節炎を多関節炎と呼び、ウイルス性関節炎が多いと考えられるが、リウマチ熱や、若年性特発性関節炎（juvenile idiopathic arthritis : JIA）などのリウマチ性疾患などでも多関節炎をきたす¹⁾。今回、多関節炎をきたし、A群溶連菌が分

泌する菌体外酵素（anti-streptolysin-O : ASO）の上昇がみられたため、ベンジルペニシリンベンザチン水和物の内服を併用した小児患者において、尿中 β 2ミクログロブリン（尿中 β 2MG）と尿中N-アセチル- β -D-グルコサミニダーゼ（尿中NAG）の推移を検討した。

症例 4歳女児。既往に薬剤アレルギーなど特記すべきことなし。X-15日頃より下痢と感冒症状が

国立病院機構豊橋医療センター 小児科 [†]医師

著者連絡先：鈴木清高 国立病院機構豊橋医療センター 小児科 〒440-8510 愛知県豊橋市飯村町字浜道上50

e-mail : ksuzuki8346@msj.biglobe.ne.jp

(2021年7月5日受付, 2022年2月25日受理)

Urinary β 2 Microglobulin and N-acetyl- β -D-glucosaminidase in a Child Suffering from Polyarthritis with an Elevation of ASO

Kiyotaka Suzuki, NHO Toyohashi Medical Center

(Received Jul. 5, 2021, Accepted Feb. 25, 2022)

Key Words : polyarthritis, anti-streptolysin-O, Urinary β 2 microglobulin, Urinary N-acetyl- β -D-glucosaminidase, isoenzyme